

平成 21 年 10 月 15 日

各 位

本店所在地 東京都港区東新橋二丁目 4 番 1 号
会社名 株式会社 T & C ホールディングス
代表者名 代表取締役 田中茂樹
(コード番号 3832)
問合せ先 社長室長 笠屋雅義
(TEL. 03-5425-7013)

中期経営計画策定に関するお知らせ

当社は、平成 22 年 11 月期～平成 24 年 11 月期までの 3 ヶ年における中期経営計画を策定致しましたので、その概要について以下の通りお知らせ致します。

1. 中期経営計画策定の背景

当社グループが属する国内外の金融業界は、一昨年のサブプライム問題に端を発し昨年のリーマン・ショックに至る未曾有の金融危機に見舞われ、各金融機関は極めて厳しい経営を余儀なくされました。投資家サイドでもリスク許容度の低下からマネーのアベイラビリティの鈍化を招来いたしました。

当社グループはこれまで、投資情報提供事業においてはアジア No.1 を標榜、東京・上海・シンガポールを拠点としたネットワーク網の拡大を進めるとともに、金融アドバイザリー事業においてもニューヨーク・チューリッヒを中心としたグローバル展開を図るなど、成長重視の戦略のもと業績拡大に努めてまいりました。しかしながら、金融経済環境の激変を受け、一部の事業計画に遅れが生じ、営業収益面で計数未達の状態が続いています。加えて、世界的な金融危機の影響が長期化することが想定される中、中期的にも当社グループを取り巻く環境が非常に厳しいものと認識致しております。

このような厳しい状況を踏まえ、従来のアジアを中心とした拡大路線を見直すと同時に、保有資産の売却資金を原資としたリストラクチャリングを積極的に進めることで経営・財務基盤の強化を図ってまいります。加えて、当社の「情熱を持って、No.1 となりうる事業に集中し、プロフィットアビリティを高めていく」という基本戦略に合致する新しい事業領域に進出していくことにより、複合的な事業構造を確立させ収益の安定化を図ってまいります。

2. 中期経営計画の位置付け

今般の中期経営計画では、(1) グループ全体でリストラクチャリングを積極的に推進、(2) 全事業部門での営業収支の早期黒字化と安定した営業収益基盤の構築、(3) 投資情報提供事業では、アジア No.1 を標榜したグループ・ネットワークの強化から、戦略商品 ETF を成長エンジンに米国中心のグローバル展開へと成長シナリオを変更、(4) 金融経済など外部環境の変化に左右されにくい安定成長を確保する事業ポートフォリオの構築、などを基本路線と位置付け、下記基本方針と具現化策を新たに策定いたしました。

3. 中期経営計画の基本方針

「中期経営計画の基本方針」の骨子は、以下の通りです。

(1) 営業基盤の強化 ～投資情報提供事業の再構築～

① 戦略商品 ETF によるグローバル化

ETF を戦略商品と位置づけ、米国で本格的に且つ集中的に営業活動を開始、商圏の拡大・確立を狙う、投資情報提供事業の成長エンジンとする。

② コンテンツの拡充による差別化

投資情報コンテンツのプロフェッショナル性を高め、価格競争が激化する業界での優位性の確立

(2) 事業基盤の拡大 ～複合的な事業構造確立による収益の安定化～

① 新規事業領域への進出

医療機器-滅菌器製造販売-事業への本格進出

- ・ 現在、ライセンス事業として当該滅菌器にかかる特許権を所有。滅菌器販売に伴うロイヤリティを計上
- ・ 本年 7 月、当該特許権技術を搭載した滅菌器につき厚労省より販売の認可(称号)を取得→病院等ユーザー需要が格段に拡大
- ・ 当該滅菌器の販売拡大定着化→キャッシュフローの安定的増大のシナリオが称号取得により確定的となったことから、来期央を目途に当該滅菌器製造販売会社の子会社化の検討開始を決定

② その他新規事業の検討

- ・ 金融業界動向・市況に左右されないキャッシュフローの獲得と収益基盤強化に資する事業への進出も検討

(3) 強固な財務基盤の確立 ～リストラの徹底～

① 保有資産の売却

- ・ 売却資金を経営改革の原資に充当

② グループ会社の再編、拠点統合によるスリム化

- ・ 金融アドバイザー事業：ニューヨーク拠点をチューリッヒ拠点に統合、子会社の見直し
- ・ 投資情報提供事業：販売管理費の削減を中心としたコストの圧縮によるリストラの徹底

4. 中期経営計画における数値目標（連結）

	平成 24 年 11 月期
売上高	37 億円
営業利益	10 億円

本資料で示されている将来予想及び業績予想は、現時点での入手可能情報に基づいて当社が分析を行い、判断した予測であり潜在的なリスクや不確実性が含まれております。そのため、様々な要因により、実際の業績は記述されている将来見通しとは異なる結果となる可能性があることをご了承ください。

以 上